

# 北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

第 749 号 [Website] <http://www.print.or.jp>  
[E-mail] [info@print.or.jp](mailto:info@print.or.jp)

10

2018

平成30年  
10月10日発行

## INDEX

印刷燦爛	3
HOPE2018が盛大に開催	4・5
HOPE2018セミナーが好評に開催	6・7
HOPE2018パネルディスカッション～大川印刷の真実のCSR～	8
「働き方」が変わります～2019年4月働き方改革関連法が順次施行～	9
日印産連印刷振興賞おめでとうございます	10
北海道最低賃金改正	10
新規加入組合員紹介	10

### 《表紙》ニセコハロウィン（10月 虻田郡ニセコ町）

—コスチュームコンテストや、お菓子をもらいに町内を練り歩くトリックオアトリート、ニセコの「食の秋」を楽しめるフードコートまでお子様から大人まで楽しめる本格的なハロウィンイベント。  
(ニセコ町WEBサイトより)



北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル  
TEL.011-595-8071/FAX.011-595-8072

UD  
FONT  
by MORISAWA

280  
古紙パルプ配合率30%再生紙を使用

VEGETABLE  
OIL INK

GREEN  
PRINTING  
INK  
GPI  
GPI認定製品  
GPI認定製品  
GPI認定製品

CSR

この印刷物は、CSRに  
取り組む印刷会社が製作  
した印刷物です。

P-00023

# 印刷 燦 燦

## 実際家に必要な三識「知識・見識・胆識」

「元来、識にはおよそ三つある。その一つは知識。これは人の話を聞いたり、書物を読んだりして得る、ごく初歩的なものであり、薄っぺらである。これに経験と学問が積まれて見識にならなければいけない。さらにその上に実行力が加わって初めて胆識となる。したがって、知識だけではだめで、知識が見識になり、その見識も最後には胆識となって、初めて役に立つ。実業家、政治家等々、いわゆる実際家ほどこの三識が要求される。」（「先哲講座」安岡正篤著より）

現代社会はインターネットの恩恵を受けて情報が溢れ、手元のスマートフォンで簡単に情報を得られる時代になりました。そのような便利な環境下で知識を持った自分は凄い、あたかも自分自身の能力が高まったものとして過信している人が増えていると感じております。情報発信に携わる印刷業界の一人として、情報はあくまでも知識であり、社会に役立つためには知識を見識、さらに胆識まで高めなくてはならないということを頭に入れておく必要があるように思います。

安岡正篤氏曰く、実際家いわゆる経営者は三識が備わっていないといけないとのこと。三識を備えること、すなわち、知識を得て自身の経験を踏まえた上で実行に移すことは大変難しいことです。私自身、絵に描いた餅で終わってしまうことがなんと多いことでしょう。しかし、変化の大きいこの時代を生き抜くために、また自身の立場としての責任を考えるならば、三識を備えられていることが理想であり、備えられるように日々努力をし続けなくてはならないと思う、今日此の頃です。

北海道印刷工業組合理事・十勝支部長 角 高 紀  
広尾大同印刷株式会社 代表取締役

# HOPE2018が盛大に開催

## 新しい印刷産業へのリ・デザイン

北海道印刷工業組合と関連4団体で構成するHOPE実行委員会が主催するHOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO)2018が、「新しい印刷産業へのリ・デザイン」をテーマに、8月31日、9月1日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催され、展示会に2,224人、セミナーに504人、合計2,728人の来場者で賑わった。

HOPE2018は、展示会とセミナーの両建てで開催され、展示会は46社81小間が出展し、セミナーは実行委員会主催の2セッションのパネルディスカッションおよび8社9セッションの出展社企画セミナーが行われた。

開会式が、8月31日午前9時30分から来賓・出展者などが多数出席して開催された。



岸 昌洋  
HOPE実行委員会  
会長

最初に、主催者を代表して岸 昌洋 HOPE実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、来賓に出席のお礼を述べ、「HOPE2018は1993年から続いている。途中2016年にHOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) に名称を変更して今年で26回目になる。これも偏に出講、出展を賜ったメーカー、ベンダーの皆さん、印刷関連業の皆さんのお蔭だと考えている。感謝申し上げる。私たち印刷業は、今、非常に変遷期にあると私は考えている。設備を買えば仕事が付帯してくるという時代ではない。それは皆さん重々承知だと思う。しかし、新しい設備、最新のテクノロジーを使わなければお客様の役には立てない。加えていろいろな考え方、いろいろな提案、そういったことができなければ当然お客様の役には立てない状況下にある。HOPEに今日たくさんの方々が来場されると思うが、そういった方々の一助になればという思いで開催している。何よりも今日出講、出展されている皆さんの成約、成約とまでいなくても何かのきっかけになればという設えを我々は考えている。2日間、事故のないように、来場いただいた方々に対してのおもてなしをよろしく願いたい」と述べた。

つづいて、来賓紹介が行われ、代表して4人から祝辞が述べられた。



岡出直人  
経済産業省  
北海道経済産業局  
地域経済部長

岡出直人経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「日本経済は、経済政策の効果が表れ、好循環が回り始めているが、業種、企業の規模のより厳しい状況が続いている。特に地方においては人手不足、生産性の面で大企業との格差が広がるなど構造的な課題を抱えたままになっている。印刷業界におかれても、活字離れ、電子書籍、インターネットの普及等で取り巻く環境

は厳しくなっていると認識している。しかしながらこういふときだからこそ、これまで培った経営ノウハウ、リソース、昨今の技術革新の目覚ましい第4次産業革命関連の技術といったものを活かしていただきソリューションサービスの提供、デザイン、画像処理、マルチメディアといった新しい分野へ挑戦する絶好の好機ではないかと思っている。そうしたなかでこのようなイベントで、先端技術を使った印刷関連の最新の機器の情報、技術、サービスが多数紹介されると聞いている。この2日間にわたるイベントを通じて新しいネットワーク、印刷業関連の方々、ユーザー企業の方々とのネットワークを構築され、ビジネスチャンスを手に入れて、新しい飛躍のチャンスにさせていただければと思っている。政府では今、人、物、金、データを結び付けて高い付加価値を見出す産業社会コネクテッドインダストリーズを進行している。そのための予算措置、税制を行っている。現在、今年度の予算のなかでもものづくり補助金という試作品の開発、設備投資を支援する補助金の第2次募集を行っている最中である。そのほかにも企業のバックオフィスを応援するITツールを使うためのIT導入補助金の第3次募集を行う予定である。私どもは、こういう施策を使い皆さんの新しい取組、意欲ある取組について関係機関と連携しながら応援していきたいと思っている」と述べた。



新津健次  
北海道経済部  
産業振興局  
産業振興課長

新津健次北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「最近の本道経済は、来道外国人観光客が堅調に伸び、個人消費も回復基調にあるなど明るい動きがある一方で人口減少や少子高齢化に伴い需要の減退や幅広い分野における人手不足、後継者不足などが懸念されている。こうしたなか道においては、本道経済の発展には産業の基盤となり付加価値を生み出すものづくり産業の振興が大変重要と捉え、企業の皆さんが取り組む新商品開発、販路開拓の支援はもとより最近若い世代に生産現場の魅力や仕事のやりがいを発信するなど、本日出展している高等技術専門学院の施策なども含めて製造業の人材育成・確保の支援に取り組んでいる。本年度、経済産業の基となるなど道内企業の生産性向上に向けた取組も展開している。印刷業界においても近年IoT、AIなどの新しい技術を中心とした移行期にあり、こうした変革に対応していける新

たな人材の育成・確保が強く求められているものと承知している。そのようななか、先進事例、技術などについて学び、情報を発信する場としてHOPE2018を開催されることは道内印刷業界の皆さんが時代の変化に対応するため業界が一丸となって積極的な活動をされているという証であり大変意義深いものと考えている。印刷業界の皆さんには今後とも長年培われてきた高い技術を活かし、道内各産業におけるさまざまな事業活動に貢献をいただき、引き続き本道経済のさらなる発展に力添えをいただくことを心より期待する」と述べた。



水野栄二  
札幌市経済観光局  
産業振興部立地促進・  
ものづくり産業課長

水野栄二札幌市経済観光局産業振興部立地促進・ものづくり産業課長は、「札幌市を取り巻く経済・雇用情勢は、数字の上では景況感は徐々に改善の動きが見られ、全体的には良い方向に向かっているということである。しかし、市内企業においては経営上の問題点として人手不足が第1位に挙げられる。人口減少は高齢化などによる人手不足、原材料や人件費の上昇など印刷業を含めて本市のものづくり産業に共通の課題があると改めて認識している。これらの課題について、IoT、AI、ビッグデータといった新しい技術を活用しながら生産性の向上を図っていくことが重要であると認識している。札幌市では、今年、中小企業の方々が生産性向上のために設備投資を行う場合にその固定資産税を3年に亘ってゼロとなる条例改正を行った。事前に計画をつくり申請いただく必要があるが、国の行うものづくり補助金の優遇措置がされることになっている。札幌市としては引き続き中小企業の皆さんの取組を、北海道経済産業局、北海道としっかり連携しながら支援して行くので、今後とも理解と協力を賜ればと思っている」と述べた。



臼田真人  
全日本印刷工業組合連合会  
会長

臼田真人全日本印刷工業組合連合会会長は、「HOPE2018は、新たな志向を加え、3回目ということである。今年度は、情報を発信する場ということで46社の方が出展されている。そして学びの場として主催者主催のセミナーが2つ、出展社企画セミナーが9つ、合計11のセミナーが開催される。正に時代の変革とともに時代に適したセミナー開催である。我々は、どうしても製造業ということで設備投資、設備ありき、ハードありきの事業展開で今まで来ており、こういった機材展も言葉のとおり、大きな重工業の機械が展示されていたが、サービス、コンテンツ、新たな価値を創造するためのソリューション、そういったものを中心に展示していく、情報発信していく、もっと言うならば今年の目的であると思うが情報交換する、そういう場に変換されてきたのではない

か。私ども全印工連でもそうした時代の変革に合わせて、今年度はHAPPY INDUSTRY、人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業をテーマにさまざまな事業を現在展開している最中である。働き手不足、人口不足、少子高齢化はどんどん進んでいる。そういったなかで国もさまざまな施策を打ち出しているが、我々中小企業にはなかなか実が伴わない状況も正直いってある。そういったものをいち早く業界団体がしっかりと研究することによって、特に私たち印刷産業については国の製造業における基幹産業である。そこを国、地方行政の施策としっかり力を合わせて一気に施策を加速するような活動をしていく。これは全国約5,000社の会員を誇っている全印工連の使命だと考えている。是非そういったことを含めて、今後の働き方改革は、単純に時間短縮すれば良いものではない。単純に設備投資をして製造力を上げれば良いものではない。生産性の向上、これは働き方を変えた結果として、新たな事業、開発、新たなサービスの提供によって対価を得るということである。生産性向上の言葉の定義を全印工連、組合員の皆さん、そして日本の印刷業の経営者の皆さんと共有させていただいて、私たちの印刷業界がそれぞれの地域において、国において経済の下支え、または経済をリードしていくような産業であり続けるためにも、今後皆さんと協力しながら、経営活動、経済活動を行って参りたい」と述べた。

つづいて、来賓の岡出直人経済産業省北海道経済産業局地域経済部長、新津健次北海道経済部産業振興局産業振興課長、水野栄二札幌市経済観光局産業振興部立地促進・ものづくり産業課長、臼田真人全日本印刷工業組合連合会会長、福迫 均北海道中小企業団体中央会専務理事、岸 昌洋HOPE実行委員会会長によるテープカットが行われ、開幕した。



# HOPE2018セミナーが好評に開催される

HOPE2018セミナーが、8月31日、9月1日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで実行委員会主催のパネルディスカッション2セッションと8社9セッションの出席社企画セミナーが、500人を超える受講者が参加して開催された。

セミナーを写真グラフで紹介する。

8月31日 金

パネルディスカッション



提 供 : HOPE実行委員会  
テ ー マ : 真実のCSR～本業を通じたCSRの実態  
ファシリテーター : 株式会社大川印刷 代表取締役社長 大川 哲郎 氏  
パネリスト : 株式会社大川印刷 常務取締役 菊地 浩之 氏  
パネリスト : 株式会社大川印刷 営業部サブリーダー 梶原 緑 氏

セミナー①



提 供 : リコージャパン株式会社  
テ ー マ : 地域密着型の善循環モデル  
～値下げしないでお客様に貢献するには～  
モデレーター : 弘和印刷株式会社 代表取締役社長 瀬田 章弘 氏  
パネリスト : 株式会社TONEGAWA 代表取締役社長 利根川 英二 氏  
パネリスト : 株式会社大風印刷 企画営業係長 加藤 憲二 氏  
パネリスト : 有限会社アサヒ印刷 代表取締役社長 漆澤 知昭 氏

セミナー②



提 供 : 株式会社小森コーポレーション  
テ ー マ : 稼働データから読み取る問題解決基礎スキル  
～不機嫌な印刷現場の直し方Part2～  
講 師 : 株式会社小森コーポレーション  
PESP事業推進部営業技術課 白石 徹 氏

セミナー③



提 供 : コニカミノルタジャパン株式会社  
テ ー マ : IGAS2018から見えるデジタル印刷動向とコニカミノルタの考える顧客提供価値  
講 師 : コニカミノルタジャパン株式会社  
マーケティング本部IP事業統括部部长 須田 徹 氏

セミナー④



提 供 : 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社  
テ ー マ : 工程管理型営業から企画提案型営業への脱皮  
～顧客から何を期待されていますか?～  
講 師 : 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所  
ミラーハイマンコンサルティンググループコンサルタント 牧 満 氏

8月31日 金

セミナー⑤



提 供 : ハイデル・フォーラム21北海道地区会  
 テ ー マ : 経営者と現場が共に考える!  
 “環境対策=コストアップ”ですか?  
 講 師 : ハイデルベルグ・ジャパン株式会社  
 ライフサイクル・ソリューションズグループリーダー 佐藤 麻衣子 氏  
 ライフサイクル・ソリューションズ 浅井 貴行 氏

セミナー⑥



提 供 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
 テ ー マ : IGAS2018キヤノンブースから見るデジタル印刷キーワード  
 講 師 : キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社  
 マーケティング本部 池本 親明 氏

9月1日 土

パネルディスカッション



提 供 : HOPE実行委員会  
 テ ー マ : テザインだいじ  
 ファシリテーター : デザ院株式会社 代表取締役 工藤 “ワビ” 良平 氏  
 パネリスト : 有限会社寺島デザイン制作室 代表取締役 寺島 賢幸 氏  
 パネリスト : KD 主宰 鎌田 順也 氏  
 パネリスト : STUDIO WONDER 主宰 野村 ソウ 氏

セミナー⑦



提 供 : リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社  
 テ ー マ : IGAS2018出展レポートと印刷現場の改善事例  
 講 師 : リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社  
 札幌支店長 高田 博史 氏  
 東日本サービス部副部長 富岡 英久 氏

セミナー⑧



提 供 : 株式会社モリサワ  
 テ ー マ : 「フォントと組版のいろは」を学ぶ会  
 ～印刷物とWebの制作で参考になる基礎知識を90分で  
 学ぶ勉強会～  
 講 師 : 株式会社モリサワ 村山 浩司 氏

セミナー⑨



提 供 : リコージャパン株式会社  
 テ ー マ : 旬なテクニックに触れるIllustrator、Photoshopの  
 最新動向  
 講 師 : 株式会社スイッチ 代表取締役 鷹野 雅弘 氏

# HOPE2018パネルディスカッション

## 大川印刷の真実のCSR～CSRの取組が重要な経営戦略～

HOPE2018パネルディスカッションが、8月31日午前10時30分から、札幌市白石区のアクセスサッポロで、ファシリテーターに株式会社大川印刷（神奈川県横浜市）の代表取締役社長の大川哲郎氏、パネリストに同社常務取締役の菊地浩之氏、営業部サブリーダーの梶原緑氏の3人を迎え、「真実のCSR～本業を通じたCSRの実態」をテーマに、約50余人が参加して開催された。



大川哲郎氏

大川社長は、最初に「大川印刷は創業137年でいろいろな苦難の歴史があり、何度となく会社は傾きかけ、バブル崩壊後、競争優位性を示すために好きなこと『環境』をビジネスに活かせないかと考えた。時代が変わり、売上げが下がっているのを何とかしたいということからCSRに繋がった」と本格的に取り組むきっかけを説明し、「CSRは社会貢献、ボランティアで無償と思われがちだが、本当はそうではなく身の丈にあった『三方良し』で、本業を通じたCSRは王道であり、企業のサービス価値向上の基本であり、CS（顧客満足度）を高めないと始まらない。CSRは経営戦略の1つで、時間や金に余裕があるからやるのではなく、SDGs（持続可能な開発目標）の基本にあるのがCSRである」との考えを示した。また、地域社会に必要とされる企業を目指している大川社長は、CSRに取り組むには「他人事ではなく自分事にならなくては」と、個人個人の意識の重要性を指摘した。



菊地浩之氏

菊地常務は、同社の取組が変わった契機として、「2004年にアースディ東京に出展し、お客様から『大川印刷の環境に配慮した印刷とはどういうものか』という質問を受け、対応した従業員が会社で行っている印刷を説明すると感激され、翌日の朝礼で、自分が説明してお客様に褒められてすごく自信が付いたと話してくれた。自分達がやってきたことをもっと皆に分かってもらいたいし、褒めてもらいたい。製造部でもできるのではないかという話になった」と当時を振り返り話した。さらに、「日常的に社外の人と接する機会の少ない職場でも、いろいろなイベントへの参加が効果を上げ、工場で見ただけの笑顔があり、いろいろな団体の人と会話できる良さがある」と語った。



梶原緑氏

梶原サブリーダーが、「クライアントから喜ばれたときが一番で、イベントが仕事に繋がった」と成果を話したのを受け、大川社長は、「なぜ、仕事になるのか」と尋ねると、梶原氏は、「色を重視するお客様には工場



に来てもらい、一緒に現場で立ち会ってもらい、ミニ工場見学をするなど印刷オペレーターとクライアントがコミュニケーションをとっていて、一人一人が自分の持ち場を良く勉強し、自信をもって説明する。オペレーターによっては自分の考えを押し付けるのではなく、クライアントの意図を聞いて、環境印刷の説明をできるので工場とクライアントの繋がりができている」と良好なコミュニケーションが大切であることを話した。

大川社長が、「自分事にして語るから伝わる」との考えを示し、梶原氏は、「一人一人が考え、行動するようになった」、菊地氏は、「従業員が元気になり、笑顔が増える。自分から説明するので自己成長ができた」と、それぞれ従業員の意識の高まりを実感していると認識していることが話された。

梶原氏が、「社会、地域、周りの人に目を向けると、何が必要か、仕事に生かせることは何か、強みを生かせる取組は何かと一緒に考え、相談したり、提案があったりする」と社内ですまざまな好循環が起きていることを紹介した。

最後に、大川社長が、「ES（従業員満足度）が第一で、CSRに取り組むことにより、まず社員が元気になり、そして地域の課題解決に目を向けると何が求められているのかが分かる。ビジネスが地域課題解決に繋がり、自分達にも大きなリターンがある」と唱え、CSRの取組が重要な経営戦略であると結んだ。

# 「働き方」が変わります!!

2019年4月1日から働き方改革関連法が順次施行されます。

**Point 1** 施行：2019年4月1日～ ※中小企業は2020年4月1日～

## 時間外労働の上限規制が導入されます!

時間外労働の上限について、**月45時間、年360時間**を原則とし、臨時的な特別の事情がある場合でも年720時間、単月100時間未満（休日労働を含む）、複数月平均80時間（休日労働を含む）を限度に設定する必要があります。

**Point 2** 施行：2019年4月1日～

## 年次有給休暇の確実な取得が必要です!

使用者は、10日以上の子年次有給休暇が付与されている全ての労働者に対し、**毎年5日、時季を指定**して有給休暇を与える必要があります。

**Point 3** 施行：2020年4月1日～ ※中小企業は2021年4月1日～

## 正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差が禁止されます!

同一企業内において、正規雇用労働者と非正規雇用労働者（パートタイム労働者、有期雇用労働者、派遣労働者）の間で、**基本給や賞与などの個々の待遇ごと**に不合理な待遇差が禁止されます。

相談窓口のご案内（各支援機関はWEBから検索できます。）

### ■働き方改革関連法に関する相談

労働基準監督署 労働時間相談・支援コーナー	時間外労働の上限規制や年次有給休暇などに関する相談に応じます。
都道府県労働局 [パートタイム労働者、有期雇用労働者関係] 雇用環境・均等部（室） [派遣労働者関係] 需給調整事業部（課・室）	正規雇用労働者と非正規雇用労働者（パートタイム労働者・有期雇用労働者・派遣労働者）の間の不合理な待遇差の解消に関する相談に応じます。

### ■働き方改革の推進に向けた課題解決のための相談

働き方改革支援センター	働き方改革関連法に関する相談のほか、労働時間管理のノウハウや賃金制度等の見直し、助成金の活用など、労務管理に関する課題について、社会保険労務士等の専門家が相談に応じます。
産業保健総合支援センター	医師による面接指導等、労働者の健康確保に関する課題について、産業保健の専門家が相談に応じます。
よろず支援拠点	生産性向上や人手不足への対応など、経営上のあらゆる課題について専門家が相談に応じます。
商工会・商工会議所・中小企業団体中央会	経営改善・金融・税務・労務など、経営全般にわたって、中小企業・小規模事業者の取組を支援します。
ハローワーク	求人充足に向けたコンサルティング、事業所見学会や就職面接会などを実施しています。



# 日印産連印刷振興賞おめでとうございます

株式会社パスカル・プリンティング 西 智樹氏



一般社団法人日本印刷産業連合会の「2018印刷の月記念式典」が、9月12日、東京都千代田区のホテルニューオータニで開催され、その席上、業界の振興発展に貢献された方々の表彰が行われ、北海道印刷工業組合員である株式会社パスカル・プリンティング代表取締役社長の西 智樹氏(札幌支部)が栄えある印刷振興賞を受賞した。

## 北海道最低賃金改正

平成30年10月1日改定

北海道内で事業を営む全産業の使用者およびその事業場で働くすべての労働者(臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む)に適用される北海道最低賃金(地域別)が、次のとおり改定された。

最低賃金額	時間額835円	効力発生日	平成30年10月1日
-------	---------	-------	------------

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されない。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがある。

### 2018組合員名簿の訂正のお願い

先般、発行しました北海道印刷工業組合「2018組合員名簿」22頁のNTSプリント工房(株)の電話番号ならびにFAX番号に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに訂正をお願いします。

(正) 電話 011-330-0000 FAX 011-330-7878 (誤) 電話 011-333-0000 FAX 011-333-7878

### 新規加入組合員

有限会社成瀬印刷	【代表者】 成瀬和之
〒070-0035 旭川市5条通16丁目左9号	
TEL.0166-23-4404	FAX.0166-23-7205
旭川支部	平成30年10月1日加入